（大正十二年五月三日第三種郵便物認可）　昭和九年四月二十六日　磐城新聞　〔木曜日〕　第四千八號　（一）

夕刊 磐城新聞
四月二十五日發行
（日曜祭日翌日休刊）

三宅坂より

默鐘生

（承前）─林さんの清澄無比な人格と實弟の斷罪に對して血の出るやうな憂愁を今日まで明け暮れ送つてきた苦心事に想到するとき、私は知らず泪がこぼれた

×

軍部首腦の慌しい動きが始まつたのはそれからだつた、留任を勸告する一團、辭任を勸告する一團、靜かだつた官邸が遽かにどよめいてきた、心なしか綻びかけた櫻の花がそよ風に一輪チラリと散つたのは寂しかつた、愛國擁護團体の三四名の者が自動車で乘り込んできて有末秘書官を通じて陸相辭任すべし、留任するが如き事あらば吾々にも考へがあると凄文句をならべて歸つて行く、吾々同志五名は、美しい家族主義の建前から國務大臣として踏み止まることは責任上斷じて忍び難いとして辭意を固めた陸相の心事は充分諒とするか、白上氏は假令へ實弟であるにせよ、家族の者では無い、そうした個人的な責任よりも國務大臣としての責任がより大でなければならぬ、それに日本は一九三五、六年の非常時を目の前に控へてゐる今日、林陸相の手腕に待つ可きものが多大である此の際、踏み留つて更に健闘されたしと只管留任を主張した、留任すべし、辭職すべしとの主張の意見がしばし錯そうした

×

結局留任すべしの主張が正當であつた、如何に固い決意をした林陸相にも大局の正しい流には抗し兼ねた。留任と決定されてから一時ゝよめいた軍部も平靜に歸し、林陸相も一死以て君國の爲めに盡瘁さるとの大きな覺悟を抱懷して國務に當面してゐることは、全く欣快に堪えない。この間最も氣の毒に絶えなかつたのは有末秘書官だつた、夜は歸宅するのは十二時過ぎ、朝は七時に登廳して幾度の訪客に應接する、留任せよ、辭職せよ、といきまく連中の話も聽かねばならぬといふ狀態、如何に頭はよく、腕があつても、こふした日が何日も續いたら秘書官たるものトテモやりきれぬと私は乍蔭同情を寄せざるを得なかつた

×

留任と決定した翌日有末秘書官は、イヤー御苦勞でした』と頗る明朗だつた

今日は快晴、日曜だ、この日曜に有末秘書官一日ユツクリ休息すればいいと同氏の疲勞したからだに思をやり作らくだらぬペンをとつた 怨祭（四、二二）

制服をぬいて

星影愛子

○卒業の記念アルバム出だし見る、なごか心の晴ぬ此の日に
○街道をステツプ輕く歩みてし、我が制服の頃やなつかし
○制服の若さの失せぬふるまひを、母よ許させ今しばし間を
○母そはのもとに仕へてつゝましく、針の仕事にいそしみて居り
○制服をぬぎて二月はやとたち、帯のきつきも慣れてきにけり

潮聲　第六十六集

課題吟『春の霜』　高久晩霞選

牡丹の芽いたはる父や春の霜　長貴
春の霜物干竿の雫かな　平一
春の霜わけて野松の綠かな　文狂
葉先やけし水菜畑や春の霜　石城
枯れ殘る蓆畑の春の霜　松堂
春霜の港に入りぬ鰯船　森里
春の霜救濟工事の焚火かな　鶴歩
春霜や獨活を培ふ籾の殼　眞砂常
培ひし畑一面や春の霜　芳月

嚴愛の子女教育 (15)

古河炭鑛勞働係主任　前松佐嘉

之に反し私は成るたけ弱い情を見せず何れかといへば嚴に過ぎる方が子供の爲になると考へて居りました、それ故子供は常に私を畏れ私にはいつも從順でありました成長した曉にも始終私を尊敬してゐました

と實際ナポレオンは母親を非常に畏敬してゐたもので彼が帝王となつた後でも母には頭が上らなかつたといふ事であります、彼が晩年母に就て語つた言葉の中に『私の母は男勝りの氣性であつて賞めるときは痛く賞めましたが罰する時もまた實に嚴しく罰しました、善いことでも惡いことでも一切見逃す所はありませんでした、常に私達の身の上に心を配りすべて高尚なこと善い事でなければ見聞きしないやうに戒めてゐました。特に母の最もふかく憎み最も嚴しく罰したのは嘘を言つた場合と不從順の時とでありました』とありますが此一語によつて想像しまするも母の教育が如何に嚴重であつたかゞわかります。彼は一生を通じて非常に規則的生活を重んじた者でありますがこの良習慣は母の教育から來たものであります。併しこれは獨りナポレオンの母に限らず凡そ偉人英雄と稱へらるゝ人の母は殆んど言ひ合せたやうに慈みぶかい反面に凜とした侵すことの出來ない程の威嚴と見識とを持つてゐた者であります

以上嚴愛教育の實例としてナポレオンのことを引いたのでありますが、併し斯樣な例は必ずしも少數の偉人英雄に限つた事ではありません。我子の教育に眞實熱心であり、又盲愛に溺れないのであればその程度方法に於てこそかはれ皆これに似通ふた教育を施して居るのであります、今それに就て文學博士小原國芳氏の體驗談を述べると次の通りであります

社會の今日

4月26日

△足利尊氏大擧西上す（建武三）△神宮司廳をして暦を頒たしむ（明治一五）△商法公布（同二二）△靖國神社臨時大祭始る△紀勢線長島三野瀬間開通△上海の邦人紡績一齊に操業開始△上海における停戰交渉において英公使提出の妥協案を日支兩國とも承認す（昭和七）△外國爲替管理法施行令公布五月一日より施行△第二十九回産業組合大會を東京に開く△オランダのベーレンブロツク內閣總辭職（同八）

○

君妬たし揚羽の蝶の紋つけて、播州屋をのみよしといふゆゑ　吉井勇

草深く平太の墓の柳かな　人の子

講談　浪人長屋 (71)

日岐武志作　月草道子畫

戀の觀世撚

お園は振り向いた。白い顏があをじろく、憂ひをおびてゐた

『何ぞご用でも』

と、わづかにさみしい笑みを浮べた

『少し、話したいことがあるのだよ。まあ、このお部屋は、むらむらする程暑いぢやないか、窓をすつかりあけ拂つて風を入れないとね』身體の毒ですよ。暑くないのかえ、こんなに締切つてさ』

お信はやさしくいひながら、窓の障子をすつかり開け放つた

『そんなに暑いとも思ひませぬ』

窓外の靑葉の反射がお園の白い横顏をあをじろく染めた

『お前この頃どうかしてゐるのぢやないかえ。うきうきした所が少しも見えないやうだが』

お信はお園の傍へ坐つた

『なんでもないんです』

お園は强ひて笑顏をつくつて何氣なさを裝つてみせたが、つゝみきれぬ憂ひがすぐ頰笑みを消してしまつた。たゞ可愛いゑくぼが一つ頰に殘つてゐた

『なんでもなければ、いゝけれど何か心配ごとでもあるなら遠慮なしにいふておくれ、一人で、くよくよしてゐたとて始まらないから

お園は兩親の顏を全くおぼえてゐなかつた。漸く二歲の春、父甚吉は傾城小花と心中した。母のお秋は甚吉の放蕩に愛想をつかして行衛をくらました、それ以來祖父祖母の甚兵衛夫婦の手で育てられたお園である

『實はね、お園さん』

とお信は

『お前、太田屋淸吉さんのとこへ行くのは嫌かね』

お信は顏色を伺ひ作らいつた

お園はだまつてうつむいて居た

『お祖父さまはね、どうでもお前を遣ると言つて今から緣談をまとめにお出かけになるのですよ、お前が行つてくれなければ三百兩の借金にわたしどもは毎日苦しまねばならぬのです。そのためにこの相模屋も潰れるやうな破目になるとも限りませぬ。この相模屋ののれんのために、どうでもお前に行つて貰はねばならぬとお祖父さまはおつしやるのだよ』

お信は柔和なおもひやり深い眼差しでお園の横顏をながめた

『どうだえ』

どんなにやさしくいはれたとてこの話は決してお園にとつてうれしいものではないのである

『淸吉さんだつて男振りは惡くはないし、とてもお前にご執心なんださうぢや。それに太田屋の相續人だもの、いやでもお前は太田屋のご新造で納まつてをられる身分になれるわけさ、こんなよい緣談はまたとないと思ふがね』

お園は、ぢッとうつむいたまゝ返辭がなかつた

『どうだらうね氣はないかね』

『お祖母さま』

お園はやうやく顏をあげて

『も少し、考へさせてくださりませぬか』

哀願するやうな眼差しでそつと祖母の顏をみた。聲が弱々しくて力がなかつた

お信は强いことはいへなかつた

『直ぐといふたとて無理ぢや、よく考へてみておくれ!』

お信は下へおりて行つた

お園は懷紙を細長く切つて

『今宵、いつもの時刻に』

と走り書きして、それを觀世撚にすると輪にして堅く結んだ。それから

『君や』

と、呼んだ

階段に足音がして女中の顏がのぞいた

『お呼びでございますか』

『あのね』

お園は顏を赧らめて

『吉三に、また、これをね!』

女中は眼でちよつと笑つたがすぐ萬事を呑みこんで

『はい、よろしうござります』

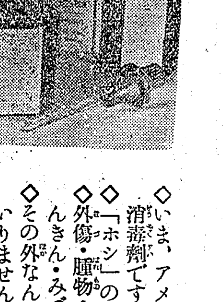
廣告

大和田醫院

技術本位
安心して御依頼下さい
時計修理
（小店員募集）
平才槌小路
高橋時計店

御花見の御催し
宴會等の節は
敷物、幔幕等準備致し置きますから大小に不拘御用命の程を御待ちして居ります
折詰の御註文は特に勉强致します。
公園內
割烹　尼子亭
電話二三〇番

銘木ト建築木材ノ御用命ハ
今一番勉强スル當店へ
建築材一式
建具材
便利瓦
平町字紺屋町四〇
㊍織田材木商店
電話　四六〇番
極優良材碁將棋盤アリ格安讓リタシ。

新發賣品
ホシの「シホ」
シホはリスク

ホシマークロ
怪我・皮膚病の最新藥
ヨヂウム丁幾・過酸化水素水の時代は去つた!
◇いま、アメリカにては、一戸毎に必ず常備されると云ふ殺菌消毒劑です。
◇「ホシ」の研究室が、靈生の第一歩として世に贈るもの。
◇外傷・腫物・濕疹・膿疱疹・蕁麻疹・疥癬・はたけ・たむし・いんきん・みづむし・しらくも・皮膚搔痒症。
◇その外なんでも、一寸塗つて置けばいゝのです。繃帶も何もいりません。
◇塗ればいゝのです。簡單に、たゞ塗つて置けばいゝのです。

脚氣のシーズン!
然し、安んぜよ。脚氣の最新藥の「ホシB・G」が發賣せられた
ヴイタミンB劑
ホシB・G（ビージー）

商標權問題に就き謹告
一、三月十九日大審院に於ける本社對大阪製藥所の商標權使用製造販賣禁止假處分事件は、控訴院に差戻され再審理にかけらるゝこととなりました。
二、本社と大阪製藥所との間に於ける商標權問題は
東京地方裁判所に
（一）商標權移轉登錄抹消（本社提起）
（二）三百萬圓の損害要求（本社提起、差戻訴）
東京控訴院に
（一）商標權移轉禁止、處分禁止假處分（本社[illegible]）
（二）機械運轉中止、製造販賣禁止（差提起 還判中止執行不能）
等の裁判事件となつて居るのでありまして、今回大審院より控訴院に差戻されたのは、第二回の假處分[illegible]に係る不在中、管財人の手によつて提起され、控訴院に於て勝訴となつたもので、大審院の判決により事件は再び控訴院に戻つた譯であります。
三、神のものは神に。「ホシ胃腸藥」は「ホシ」に。
之は絶對のことであります。
本社の正義は[illegible]に種々の支障の起りますことは、要するに破産問題中の宣傳負け、本社に不利なる管財人の爲めの主張負けに原因するもので、內容は簡單明瞭疑ふ余地はないのであります。恐らく大阪製藥所は一流の宣傳力を以て大審院の判決、差戻しを自家の勝利と吹聽することでありませうが、需要者各位、販賣店各位には、迷はさるゝことなく本社の「誠」を御信賴下さるやう御願致します。
─東京・五反田　星製藥株式會社─

平町三丁目三〇
ホシチエンストアー平支部
「ホシ」藥舖
電話四二九番

平在軍と國防研究會で 水郷廻り軍都見學團 主催
非常時に相應しい晩春の行樂

平町在郷軍人分會同國防研究會では目下鹿島、香取の水郷廻り軍都見學團体百名を募集して居るが期日は來月六日より二泊三日で行程左の如く昨日各種團体所に用紙を配布したので希望者は費用概算九圓五十錢を添え今月末日迄に田町藤田女學校軍人平分會事務所宛申込まれたいと、尙該旅行は當潮の俗謠と風光明媚を以て知られて居る潮來の水郷及鹿島、香取の神宮に詣で丶國難打開を祈願し、或はあらゆる新兵器が完備して居ると云はれて居る下志津千葉習志野方面に軍隊の見學を爲し非常時に於ける晩春の行樂と國防觀念馴致の實を一擧に獲得せんとするものであると

行程—平、石岡、玉造、鹿島神宮、潮來（泊）香取神宮、佐原、成田、四街道、下志津（砲兵學校飛行學校）千葉（泊）千葉（歩兵學校、氣球隊）津田沼、習志野（騎兵學校、戰車隊）東京解散

面川龜之助、菅波虎之助

第三校遠足會

第三小學校では去る廿三、四日の兩日に亘り全校生徒の体格檢査を行つたが明廿六日左の通り春季遠足を行ふと

一年—白土八幡、二—專稱寺、三、四（男）—白水阿彌陀堂（女）新舞子 五、六（男）閼伽井岳（女）鹽屋埼燈臺

湯本招魂祭

湯本町在郷軍人分會主催の招魂祭は昨廿四日午前十時から上町成田山境内で擧行したが石川町長外分會員約六十餘名出席盛會であつた

高月學徒登龍門へ
進學合格其後の分

磐中卒業生中上級學校入試合格者その後の分左の如し（三四回は卽ち本年卒業）

岩手醫專（三四回）諸橋一郎（三〇）渡邊毅 横濱專校（三三）大越重儀 青山師範二部（三二）齋藤文男 國學院豫科（三三）山名隆三 早大專門部商科（三四）杉浦敬三 昭和鐵道（三四）鈴木勝 早大高等學院（三二）小林忠司 小樽高商（三三）野口一磨 福高商（三四）金成金一郎 早大（三二）松原政一（三四）中村正夫

第三兒童八百繼走參加

來月五日磐中創立記念運動會の呼び物たる郡下小學校兒童八百米繼走は來る三十日その申込を〆切るが目下の申込は平第三校の一と組のみである

磐炭競技會

磐炭競技部では昨廿四日委員會を開き從業員春季競技大會を來月廿日頃開く事に決定した

平商課外運動

平商では此程課外運動日割を左の如く決定奬勵してゐる

一、二、三年—火曜、四年—金曜、五甲—水曜、五乙—木曜

阿片密賣と聯絡の 鮮人窃盜團起訴
平町の洋服屋荒し一味

帝都に於て阿片密賣を企てた鮮人窃盜團と聯絡をとり平町大崎、佐川兩洋服店を荒した當時住所不定無職朝鮮全羅南道濟州島濟州面（當）頭里多好調生れ高橋政男事前科一犯張斗生（三六）を首犯とする一味八名は一昨二十三日盜被野木檢事係取調べの上張は窃盜、赤井村大字赤井字畑子澤一一五山口飯場內齋木弘事前科一犯李大南（三七）は贓物寄藏で起訴され近く公判開かれるが張は去月二十四日佐川洋服店を、去る一日未明田町大崎洋服店を何れも荒しその足で田町二六鈴木辰藏方店頭からリヤカー一臺（五圓見當）を窃取し李は一日張から情を知り乍ら洋服一着外服地（價格二百三十九圓）を貸金十二圓の擔保として受取り保管してゐたものである

投槍
投書歡迎

署跡の清掃を望む

◇元平署跡の廣場は都市計劃に直面する大平町の一新風景で弧狀の大道路に配するに均齊のとれた新樣式の建物などが其の過剩地に出現する事は自町を誇負する町民が可なりの關心を拂ひつつある處の待望だ◇が薩張り其れらしいものが出來ぬのは未だ以て町當局の處分方案がつかなかつたりする關係上止むを得ぬとしても宛然焦土の廟館を見る樣に雜然混然たる不体裁に抛つて置くのはどういふ心算なのか◇屈曲の撤去に因つて街上の交通不安を除かれた事は最も顯著なる事實ではあるが現在の處無節制に空地を開放されて喜ぶ『お好み燒き屋』位以外之が恩惠に浴して居るものが甚だ少い◇追々陽氣も良くなつて來た。假令利用方針の決定する迄も此所を綠地帶化するとか何とか利用の途を考へて貰ひ度い、繩片其他の塵芥が堆積してゐる現狀を寸刻も早く美化して吾等の爲に晩春初夏のプロムナードとして欲しいものだ（研町園麓生）

小檜山校長出郡

小檜山中校長は二十五、六の今明兩日安積中學に開催の男子師範及び中學校長會に出席のため出郡

大井川中佐應召

同大井川配屬將校は原隊よりの招が近く

現地に出張して 作物警戒を指導
郡農會の雪害對應施設

去る冬季間の天候不順に加へ季節でもない過般の降雪其他で郡下の農作物も被害多い見込みなので郡農會ではこれが善後措置について各技手が出張督勵してゐる

收穫見込みない被害地及收穫見込みある被害作物に對する善後措置、水稻栽培に對する注意を詳說した印刷物を配布各農家の注意を喚起する事になつた

差押物件が消へる

玉川村字島鈴木一男（三五）は客臘來保管中の昭和五年以降昨年十二月迄の滯納村稅百八十餘圓の差押へ物件たる玄米三十五俵を勝手に處分したものか現存せぬので一昨廿三日平署に告訴されたが同人は目下紛紜中である藤原川問題に關し最近鑛毒說否定の聲明書を發表した當人である

消防幹部見學

宮城縣氣仙沼消防幹部五名は明廿六日午後一時來平、平署其他消防設備などを見學する

本社主催 春季短歌會

四月二十九日午前十時よりマルトモホールにて

兼題『雲』『散』各一首

詠草締切 明後廿七日（當日持參ノ分ハ受付ヲ斷リ）

雨に代つて今日は風 艶な花吹雪に春は逝く
歡樂氣分の淸算愈々迫る

行樂の三春にあるまじき昨日の雨に引き替はて、今二十五日は朝來淸空一碧、之で危い棹尾のお花見は出來たわけだが前日の雨に叩かれた花は之亦生憎の風に祟られ脆くも春を捨て丶繽紛と道を狹に散り初め人をして漫ろに花の春の無常迅速を喞たしむるものがあつた、之で今年の花は惜くも其の終曲を告げた觀はあるが未だ葉櫻には若干の間があるので風が收まつて氣溫でも上昇すれば茲兩三日の人出は續き今年の花見氣分は愈々二十九日の旗日日曜頃を以て淸算されるものと看取さる

第廿八區 團旗披露 兼ねて懇親觀櫻會

平町第二十八區青年分團で過般來作製中の團旗が出來上つたので之れが披露を兼ね今二十五日午後六時より松ケ岡公園に於て區內關係役員を招待し觀櫻會を催すと

立町青年觀櫻

平町立町青年分團では今廿五日午後六時から松ケ岡公園で觀櫻會を開く

集で若松へ

郵便配達增區

平局にては最近配達郵便物の增加に伴ひその速達を計る可く現在の五區編成を來月中六區に改む可く目下立案中である

入山對平商野球

來る廿九日午前十時入山グラウンドで開く

新川端は七分咲き

同じ平の櫻でも新川端のそれは松ケ岡公園よりは遙かに遲れ目下七分の咲きで來二十九日の休み前後が見頃であらう

久の濱生徒遠足

双葉郡久の濱小學校高等科生は今廿五日午前內鄕村磐炭、白水方面に春季遠足運動をなした

研農會總會

來月一日午後一時より農試分場で開き役員改選、事業計劃の件を附議するが出席は顧問、職員、會員約百卅名であると

愈々今日から 滿蒙展始まる
出陳何れも珍奇づくめ 第三小學校で公開中

今二十五日より三日間第三小學校に於て公開中の滿蒙土着民兒童作品建國資料大展覽會は主催者日滿親善協和會の普瀬古民が萬里の長城に關する資料を蒐集する際の如き朝陽地方で匪賊のために危く慘殺されんとし身を以て逝れた程の冒險をなしただけにその陳列品は頗る貴寶且つ珍奇なる物多く、滿洲事變、滿洲國建國等に關する資料や在住十民の小學生作品等極めて豐富であり、就中萬里の長城、東洋最古の建築物たる白塔等の煉瓦や滿洲古代の土器など考古的な出陳品は一般の興味を唆るに充分なるものがある、尙同校では本日全校兒童に夫々觀覽せしめた

第三方部小學校長會
あす平第二講堂で開催

第三方部小學校長會は昨報の如く明二十六日午前十時半から平第二校講堂で開催されるが八年度決算報告、役員選擧の他に左記協議を終つて新舊校長の歡迎會を催すと

本年度兒童競技會、教務主任會（來月二日午前十時より）女教員會各開催御親閲記念事業、方部研究會改選、聯合視察計劃

（平）平澤勝次郎、木村モン（湯本）須田ノブ（小名濱）樋口速、野崎ハツ（夏井）矢ゝ德次郎（四倉）

時機は來た！と 零碎な蓄へを提供
奉祝の感激に充つ老驛員 赤井校へオルガン寄附

赤井驛佐々木儀太郎さんは同驛創始以來廿年間轉轍手として勤續今日に至り同驛の活字引とされてゐるが子供三人お世話になつて居り何時かはお禮をせねばならぬとも思つてゐたが皇太子殿下御降誕を祝する良い折にと貧しい中から貯へた金六十圓で此程赤井第一校にオルガン一台を寄贈した

初夏の味覺をそゝる 郡內生産のメロン
來月中旬頃出廻る

石城郡內生產のメロンは當業者間の研究から品質向上、遠く東京、北海道方面まで移出され愈々その聲價をあげて居るが今年も目下結實季にあり來月中旬頃から出廻り初夏の味覺をそゝる事であらうと云はれて居るが相場は昨年同樣百匁最低三十錢から四、五十錢最高八十錢位であらうと、尙神谷農試分場でも目下矢ケ崎技手外栽培に大童であるが收穫は百四十貫目であると

齋藤學士著任

平町磐城共濟病院外科耳鼻咽喉科部長として醫學士齋藤七五三男氏著任、皮膚泌尿科、花柳病科部長醫學士前澤正氏と共に毎日診療に從事すると

『道路を愛しませう』
自動車に分乘し 監督所で趣旨宣傳

來月一日の道路愛護デーに際し平土木監督所では例年の如く各町村と連絡、道路に立看板、ポスターを掲出し、所員總動員で數台の自動車に分乘、管內を巡回チラシ其他で趣旨の徹底に努むる事になつたと

宇部炭田に於ける 炭礦聚落の漸移機構 (13)
山口彌一郎

次いで大正元年六月更に新川河口より西約一粁の沖合に二〇〇米角の島を築き同年九月開坑、同三年二月完成、其後隣接鑛區を買收或は併合し、海中に二個の竪坑を有して海底の標式的なものとなつた

今此等の南漸傾向を明らかにする爲に石狩炭田にて行へると同方法に依つて開坑位置に創立の紀元年數を入れ等時開坑線とも言ふべきものを描き第四圖を作製した。之に依れば常盤池附近の採掘當時は明瞭でないが東宇部地塊と西岐波地塊の境界地帶の北部地區は最も早く開發が南漸し大小鑛は西宇部地塊と東宇部地塊に於て早くより海底炭層の採掘に進んでゐるに反し西岐波地塊の古期岩石に接する北方地區は後まで小炭鑛が持續して居た樣に見える

（３）海底採掘と海濱聚落構成

炭鑛の南漸性は遂に明治二十四年瀉炭鑛の最初の海底採掘より漸次進展し、沖ノ山、東見初、沖見初の諸鑛は並んで既に海岸より五粁に迄及ばうとし、幅も七粁以上に達してゐる。炭鑛の南漸につれて炭鑛聚落も亦南漸した。然し宇部炭田の最も發達したのは海底採掘を開始してよりであり、炭鑛聚落の形態を具へたのは出炭の青壯年期に達してからである

炭層は地下採掘であり淺海底も炭層を追うて南漸採掘を進める事は出來得るが聚落は炭鑛を追うて驀進して來た一隊を遮ぎつてドッと踏み止まらせた如く、海岸に依つて強く一旦阻止した樣な傾向を現してゐる。而して厚東川より流出した土砂が同河口より宇部岬に至る沿岸に並行、形成した砂丘卽ち蜿蜒七粁餘の白砂青松風景絶佳の仙境を全炭鑛聚落化して終つた。本町通りは砂丘に並行して中央を走り、新川河口を核心地帶として西西北より東東南に四粁以上の細長い形態の市街を形成した

優良煙草小賣人表彰式

平地方煙草小賣人組合總會は來る廿七日午前十時より世界館に開き豫算、決算報告後組合長以下役員改選、終つて左記八名の優良組員表彰式を擧行す

窃盜

當時住所不定無職耶麻郡北山村大字北村山佐藤武義（三二）は今廿五日午前二時頃江名町中町蒲鉾業酒井源之助所有工場に忍び入り帳場の引出しより十五圓二十二錢記入の小切手其他靴、洋服、衣類を窃取、大風呂敷に包んで逃走せんとした處を同町駐在所員に逮捕され目下平署で取調べ中

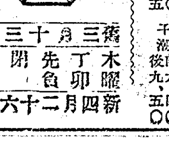
闘雞

相馬郡原町字新田町雞肉商神尾龜治（三八）外二十三名は去る二月以來一勝負一圓以上といふ大掛りな闘雞賭博をなし一昨二十三日午後二時半頃双葉郡浪江町大字川添日屆業岩野了助方裏庭で一圓となり開張中一網打盡浪江署に檢擧されたが今二十五日身柄を送檢された

狂死

當時住所不定無職平町田町卅六生れ佐藤信（六八）は去る十五日來躁狂で行路病舍に收容中であつたが一昨廿三日死亡した

二十六日
日出 四、五六 月出後 三、〇五
日沒 六、二二 月沒前 二、四五
滿潮前 三、二〇 干潮前 九、四〇
滿潮後 三、四五 干潮後 九、五〇



舊三月十三日 木曜 丁卯 先負 閉 井宿 新四月二十六日

諸判定應需 東京市本鄕區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神讃

▲一白の人 一家の安樂を滿きつすべき日なれど病厄注意▲二黑の人 內外の融和は萬事に便益を生じ發達すべし▲三碧の人 我意我慾を捨て丶溫柔なる心掛が肝要なり▲四綠の人 枯木に花は咲けど永持ちは六ケ敷き日注意▲五黄の人 大望は堅く戒むべき日一家協力定業に從へ▲六白の人 靜かに展開を謀るべき日迷を起さば害り▲七赤の人 煩悶多かるべきも解決を急がば苦勞を增す▲八白の人 努力の功は日頃に倍する利益を收むる吉日▲九紫の人 敬して遠ざけられ諸事首尾全からざるべし

公園が花でかざれば カフエー松ケ岡は 女給でかざる
料理自慢のうでに「ヨリ」をかけた店主が營業の責任を引受ます
また花よりダンゴと云ふこともある
見斗ひ一品卅五錢以上は斷じて戴きません
是非御立寄下さい御待して居ります
カフエー松ケ岡
研町通り公園入口 電話（呼出）四四三番

新車購入御披露
御待ち兼ねの一九三四年マスターセダン!! 本縣下第一車が
皆樣の昭和へ入りました
ニーアクション裝置絶好の乘心地、是非御試乘の程御願ひ致します。
呼び良い電話三四〇番增設致しました。
平驛前 昭和タクシー
電話 三四〇 三四三 番

徽章
團体徽章一ケ一錢ヨリ
御一報次第見本持參仕候
平町田町
ハシモトヤ糸店
電一四